

株式会社エンプラス

2008年3月期

P R E S E N T A T I O N

第1四半期決算説明会

2007年 7月26日

取締役

経営企画・管理本部長

酒井 崇

1. ニューグローバル経営戦略機構の構築
2. 基盤技術の革新と集中によるグローバル生産推進体制の構築
3. 先端技術・品質・知財の並立加速でデファクト・トップ製品の拡大
4. 新事業の創出
5. 企業価値向上直結の内部統制システム構築

グループ組織再編

▶ 液晶関連事業

◆ 小型LGP事業部門の組織再編

子会社→本体エンプラ事業部へ統合

▶ 半導体機器事業

◆ Enplas (Korea), Inc.の設立

◆ Enplas Niching Technology Corporation

出資比率アップ (75%→85%)

株主還元としての自己株式(350万株)の取得決議

損益実績及び計画

(単位： 億円)



	2007年3月期 実績		2008年3月期 計画	2008年3月期 上期計画	第1四半期 実績
<u>売上高</u> (原価率)	314.4 (69.2%)	1.8% (0.5ポイント)	320.0 (69.7%)	(155.0) (71.9%)	71.7 (70.8%)
<u>営業利益</u>	20.9	5.1%	22.0	(6.5)	1.8
<u>経常利益</u>	21.7	5.8%	23.0	(7.0)	2.8
<u>当期純利益</u>	0.1		12.0	(3.0)	0.1
<u>1株当たり当期純利益</u>	0.87円	60.03円	60.90円	(15.22円)	0.99円
<u>1株当たり配当</u>	20.00円	0.00円	20.00円	(10.00円)	—

四半期実績推移

(単位：億円)



	2007年3月期				2008年3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期 実績
<u>売上高</u> (原価率)	86.0 (69.1%)	77.3 (69.5%)	77.1 (67.1%)	73.8 (71.1%)	71.7 (70.8%)
<u>営業利益</u>	6.6	4.8	7.1	2.2	1.8
<u>経常利益</u>	6.6	5.3	7.5	2.2	2.8
<u>当期純利益</u>	2.6	△4.1	4.2	△2.7	0.1
<u>1株当たり当期純利益</u>	13.08円	△20.17円	21.41円	△13.65円	0.99円

セグメント別 売上計画

(単位： 億円)



	2007年3月期 実績		2008年3月期 計画	〔2008年3月期 上期計画〕	第1四半期 実績
エンプラ事業	152.2	→ 5.1%	160.0	(80.0)	38.1
半導体機器事業	67.9	→ 26.6%	86.0	(40.0)	18.5
液晶関連事業	41.8	→ Δ11.7%	37.0	(18.0)	6.8
オプト事業	52.3	→ Δ29.3%	37.0	(17.0)	8.2
計	314.4	→ 1.8%	320.0	(155.0)	71.7

セグメント別 四半期実績推移 (単位：億円)



2007年3月期

2008年3月期

第1四半期

第2四半期

第3四半期

第4四半期

第1四半期
実績

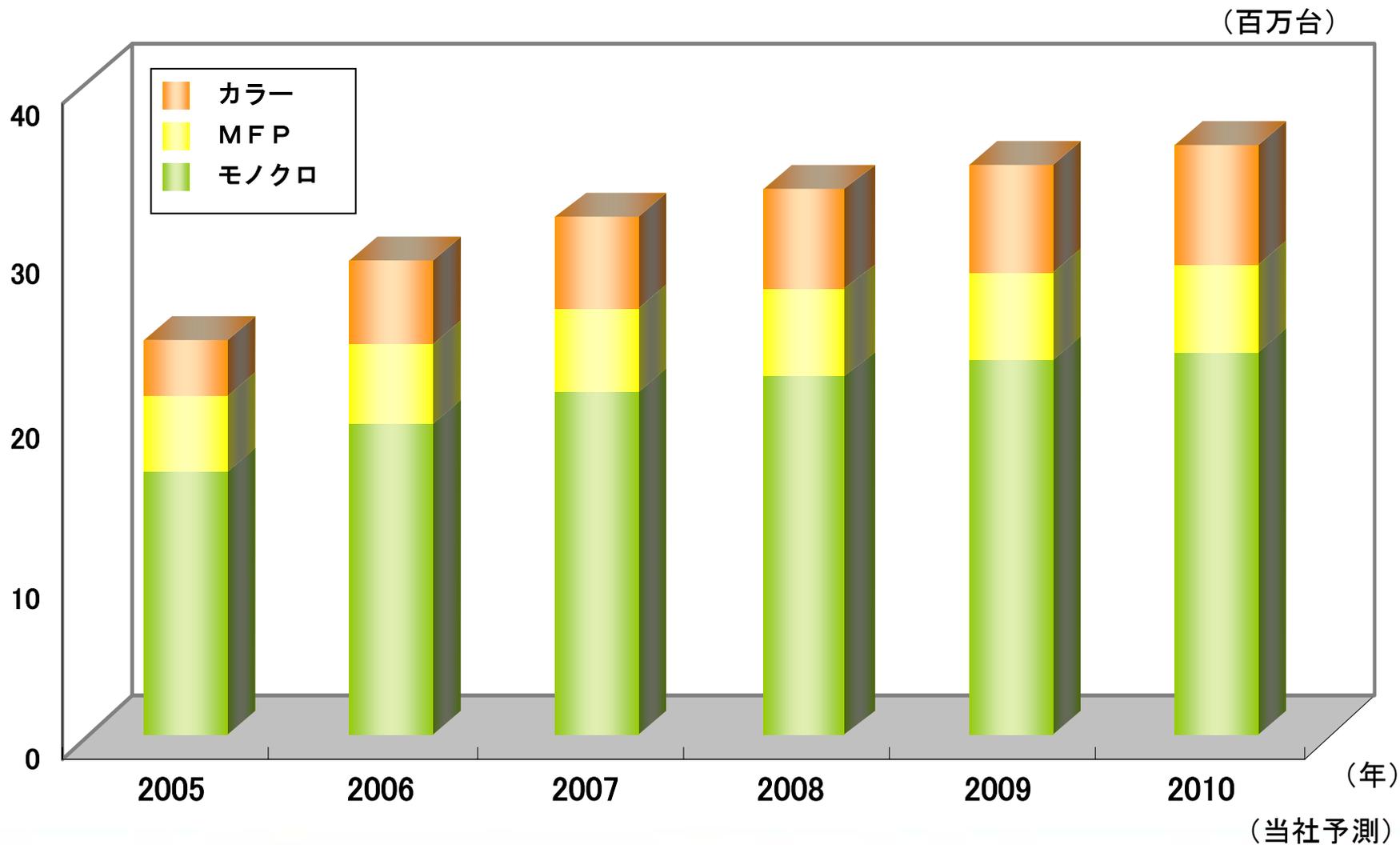
エンプラ事業	37.5	38.0	38.7	37.9	38.1
半導体機器事業	16.1	15.2	18.7	17.8	18.5
液晶関連事業	15.2	9.5	8.6	8.4	6.8
オプト事業	17.0	14.5	11.1	9.6	8.2
計	86.0	77.3	77.1	73.8	71.7

	2007年3月期 実績	2008年3月期 修正計画	第1四半期 実績
<u>設備投資額</u>	17.3	35.0	8.8
<u>減価償却費</u>	27.1	34.0	6.1
<u>研究開発費</u> (売上高比)	12.9 (4.1%)	13.0 (4.1%)	2.8 (4.0%)

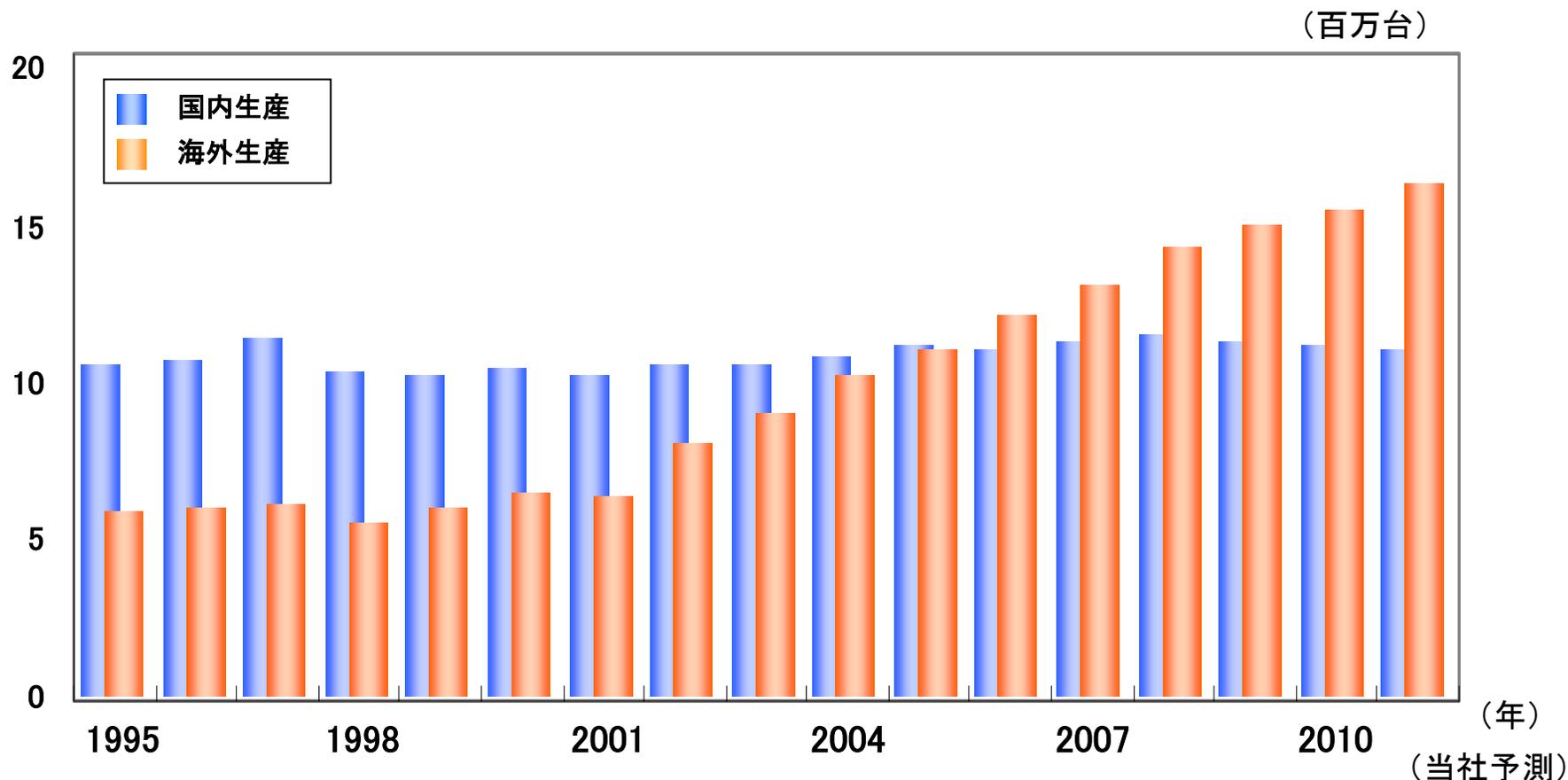
P R E S E N T A T I O N

各事業セグメントの ビジネス動向及び計画

レーザービームプリンター出荷台数予測



日系自動車メーカーの生産台数予測



国内生産台数は堅調、海外生産台数は急伸長

半導体関連事業の更なる事業拡大と戦略強化

Enplas (Korea), Inc.の設立

事業内容： 半導体機器事業関連製品のマーケティング・
メンテナンス

設立：2007年7月2日

資本金：3.5億ウォン

出資比率：当社(85.7%)REPKOREA(14.3%)



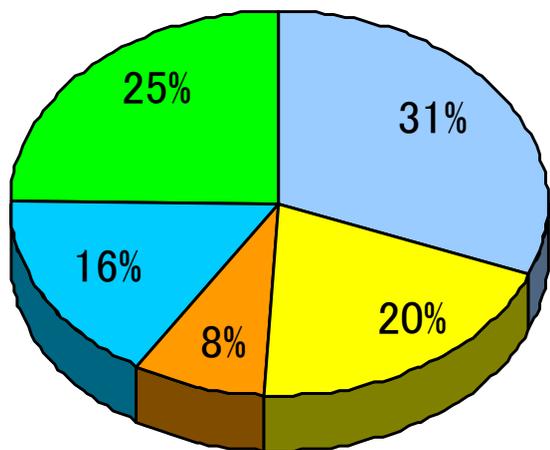
半導体機器技術開発センターの開設

目的： 先端技術開発の推進と加工技術の社内蓄積

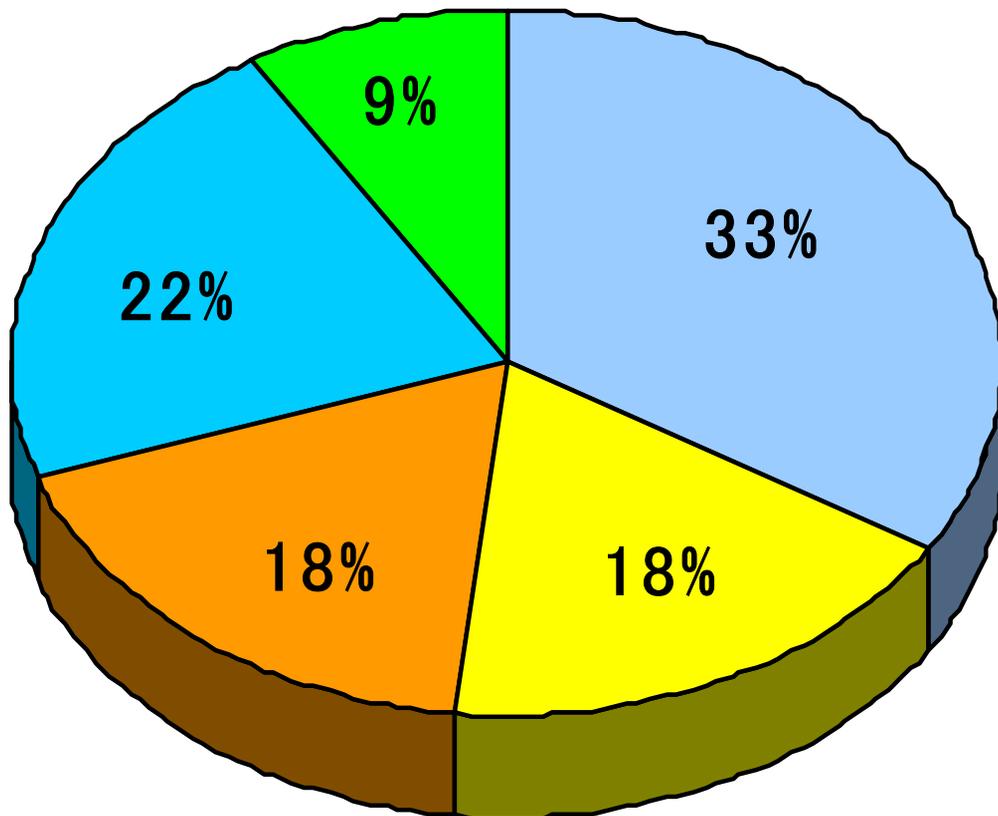
開設日：2007年6月1日



半導体用途別売上比率（単体）

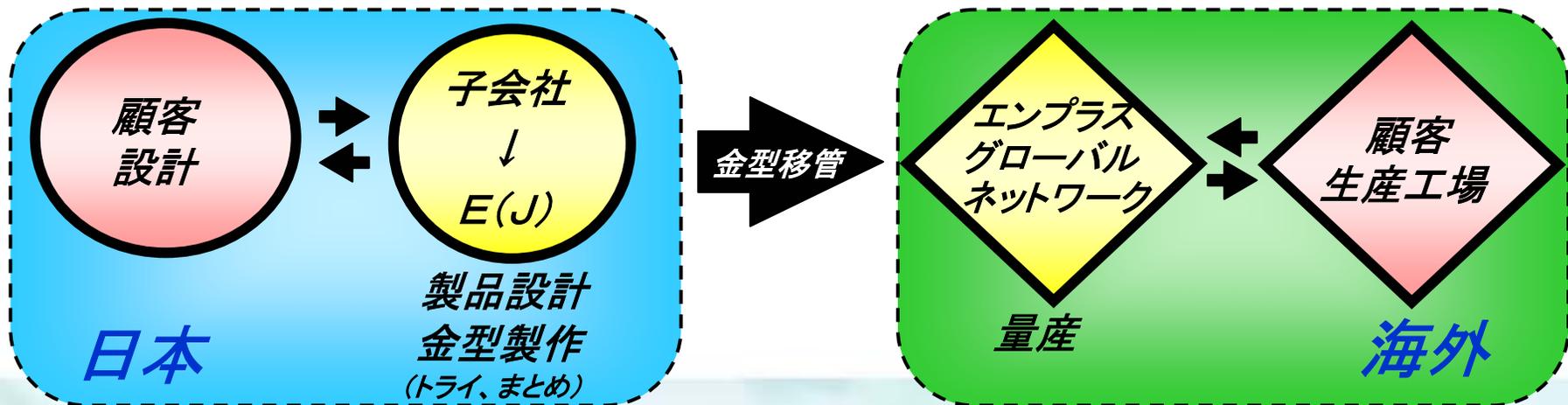
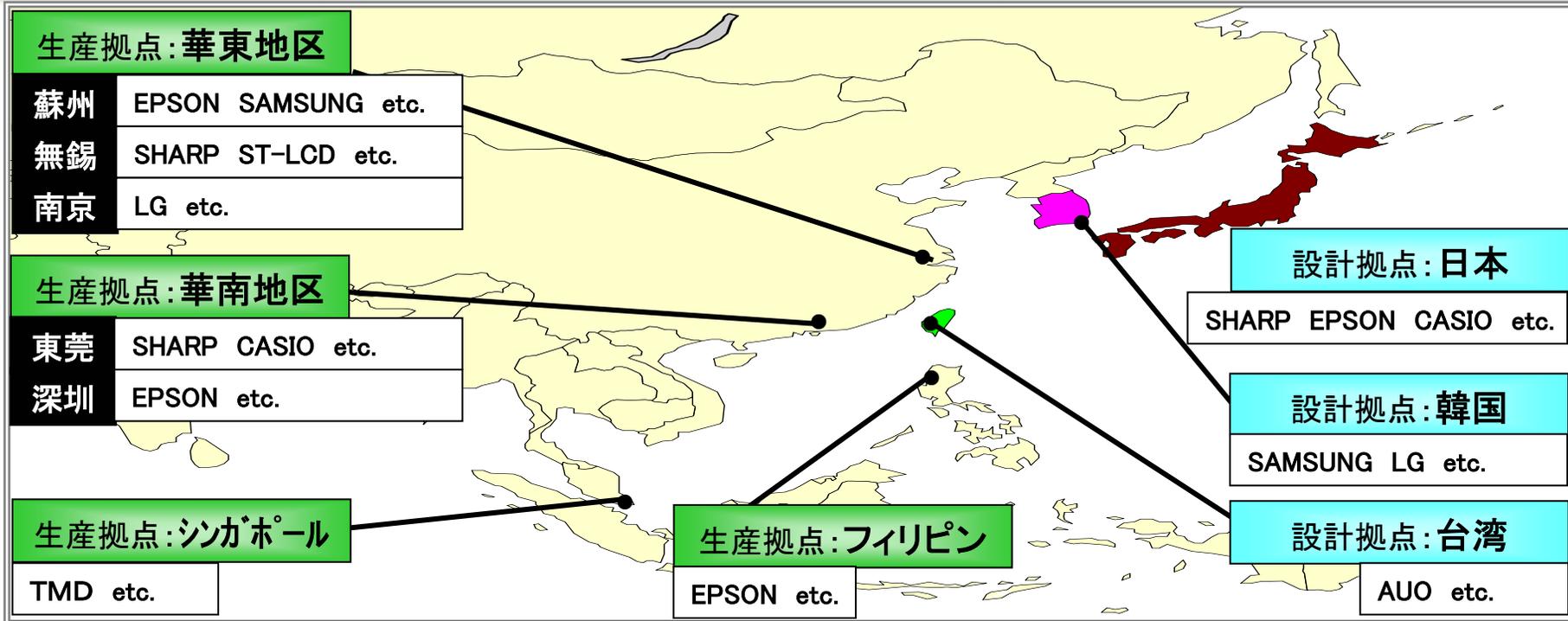


2007年3月期



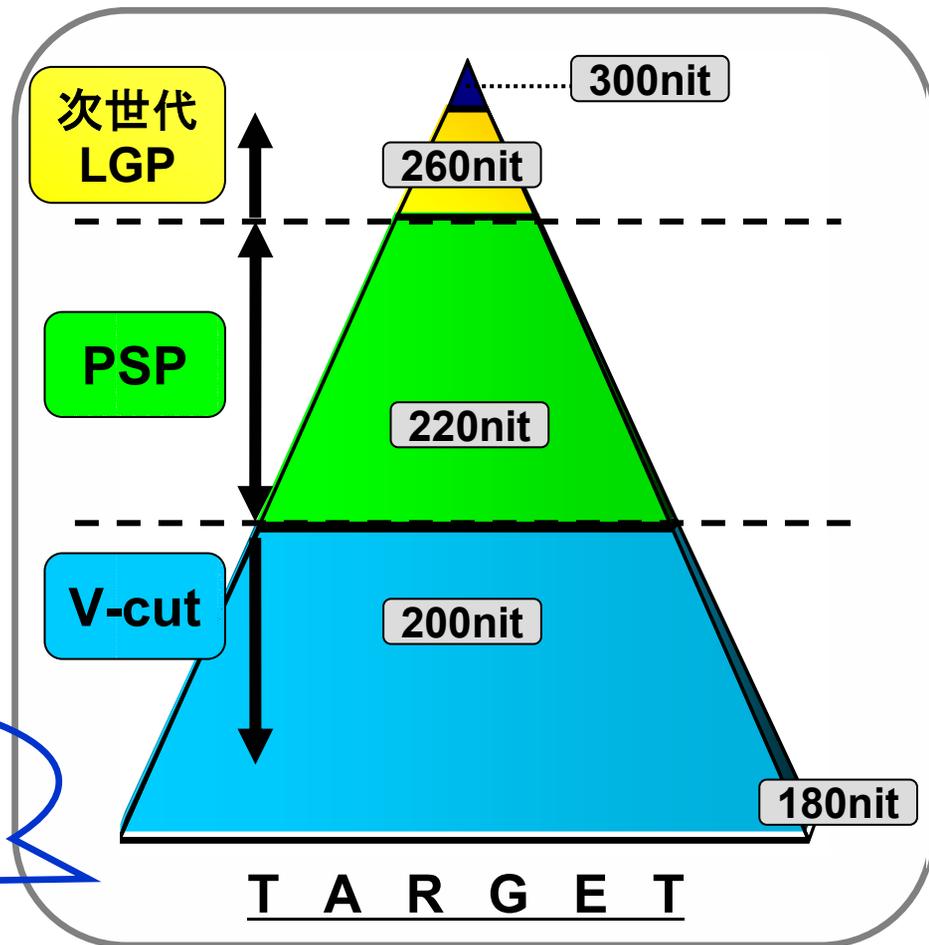
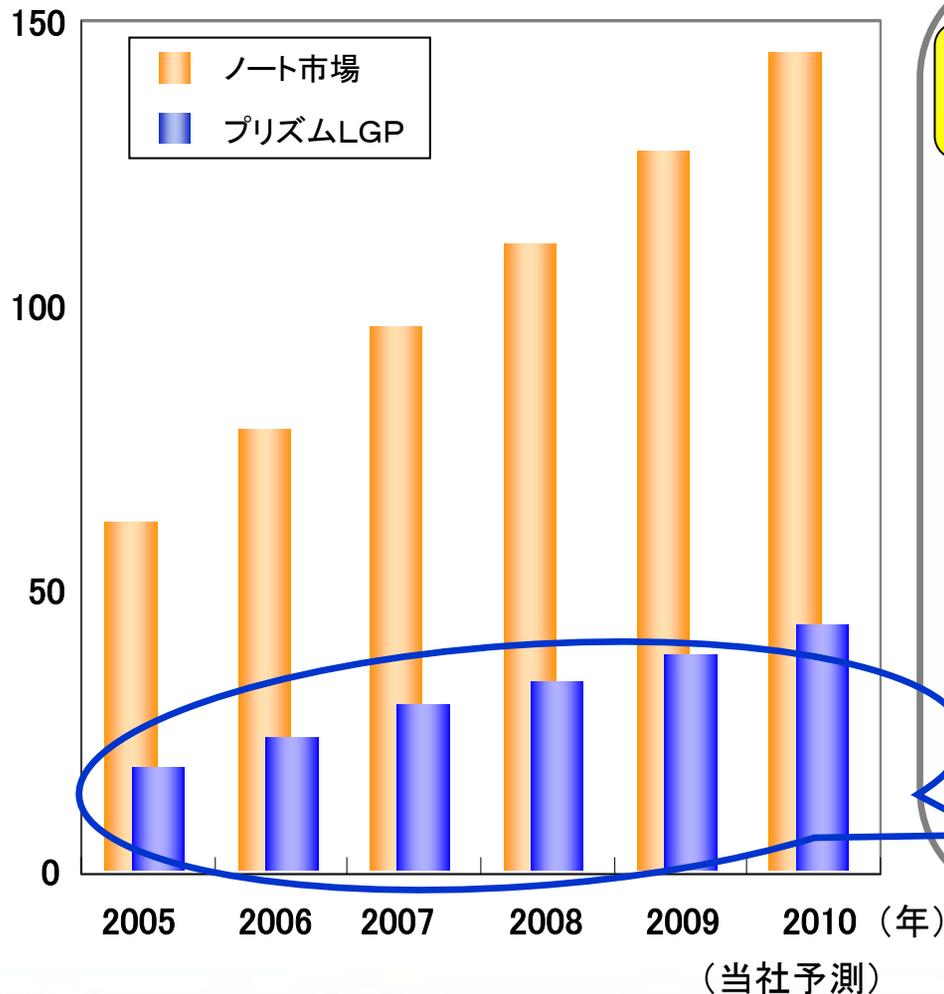
2008年3月期 第1Q

液晶関連事業の動向—小型—



ノートPC市場予測とターゲット

(千台)



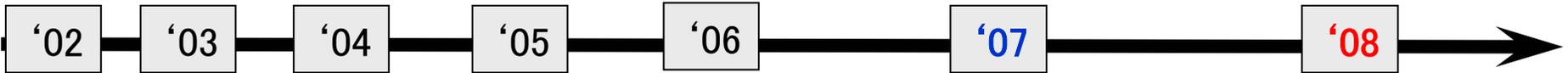
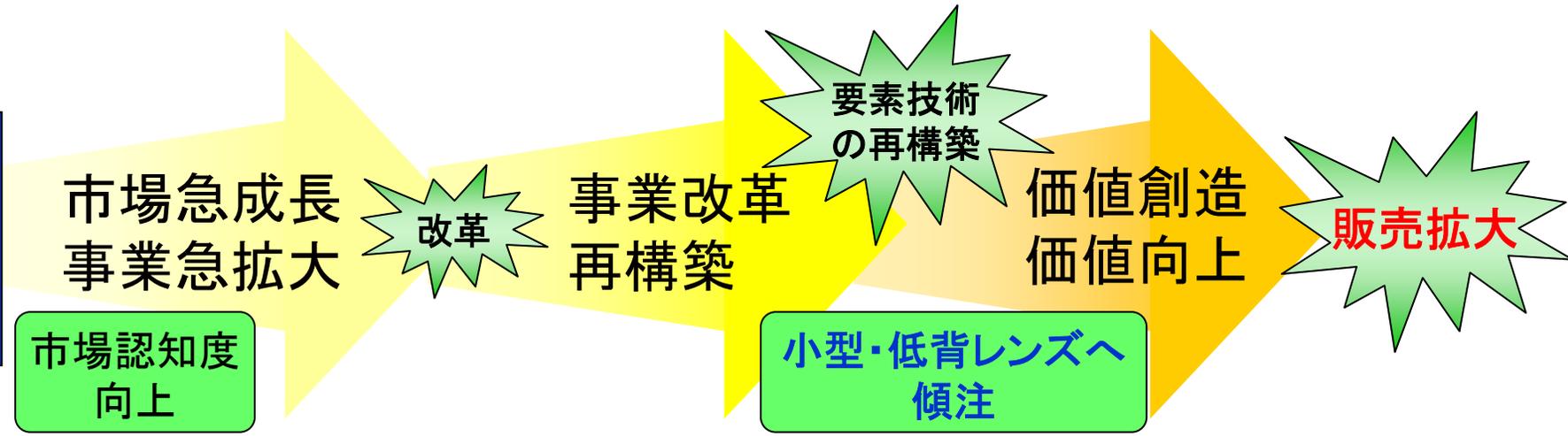
オプト事業の動向-A I S-



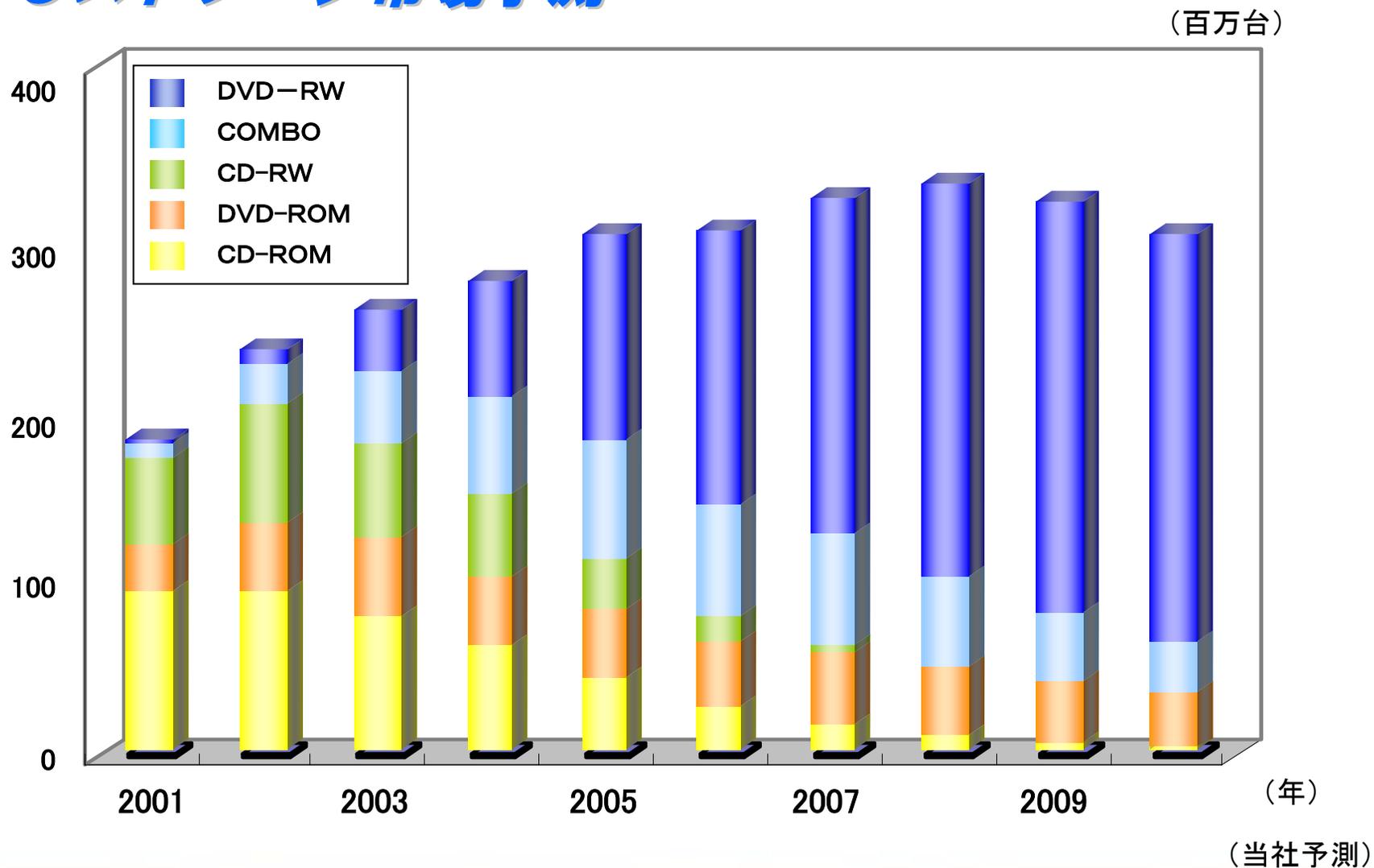
市場環境



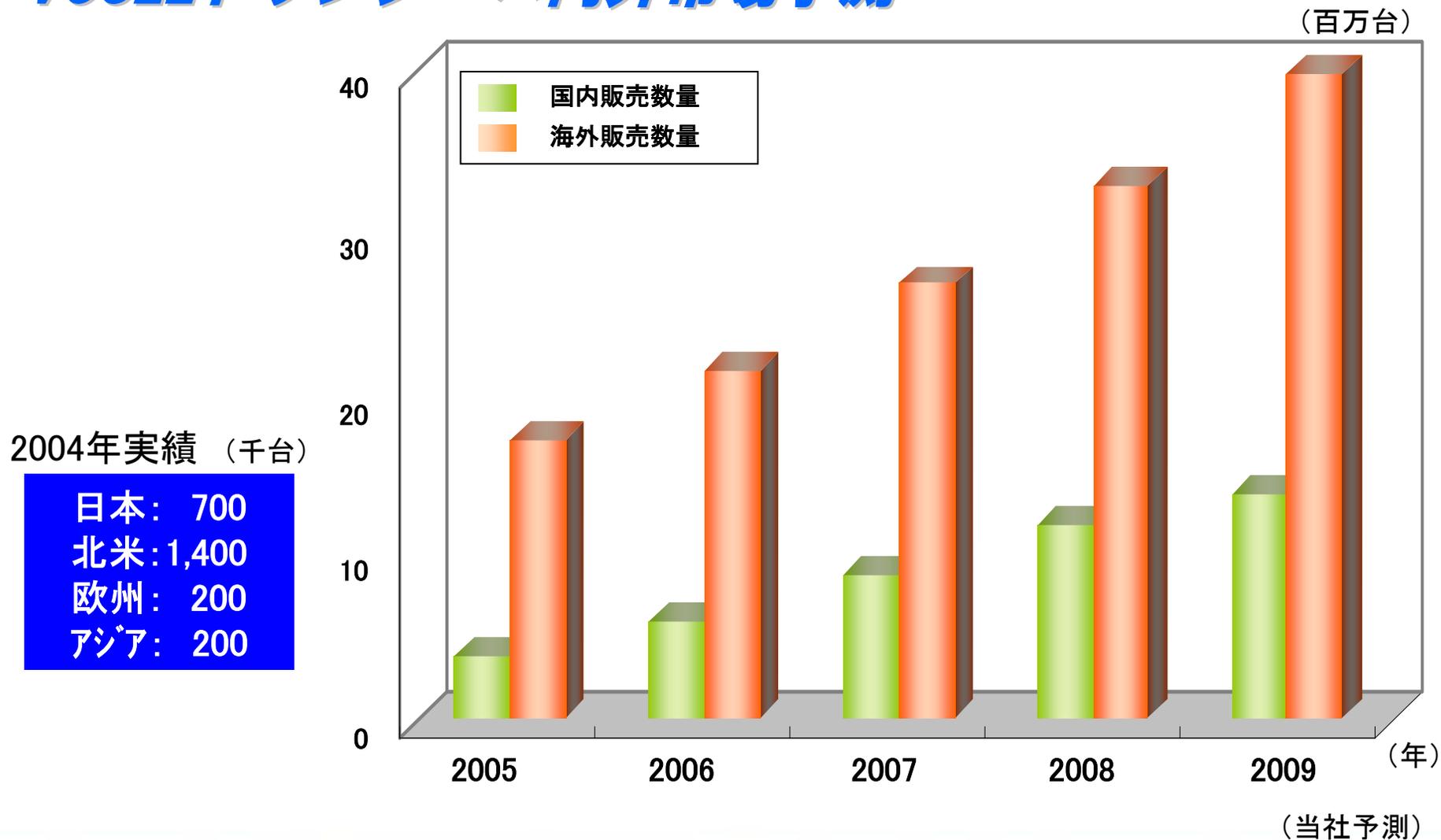
事業戦略



PCストレージ市場予測



VCSELトランシーバ内外市場予測



2004年実績 (千台)

日本: 700
北米: 1,400
欧州: 200
アジア: 200

P R E S E N T A T I O N

ご清聴ありがとうございました。

株式会社エンプラス